

発達センターあつた 2018 年度保護者向け自己評価アンケート結果

1. 自己評価概要

実施時期	2019 年 月 日～ 月 日	回答方法	アンケート用紙による匿名回答
回答状況	配布 38 人、回答 28 人、回収率 74%		

2. 自己評価集計結果

区分	設問	はい	どちらとも	いいえ	わからない	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	71%	25%	0%	4%	・園庭は広いが遊具の老朽化がひどい。	・専門業者の点検を年 1 回実施し、安全性の確保に努めます。必要に応じて取り換え等の措置を講じます。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	50%	21%	21%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の時点で先生が足りておらず6月にパートでやっと先生が決まった。 ・職員のスキルに差が大きい。経験等で仕方ない面もあるが、その場合配置に工夫して欲しい。 ・発達障害に関する専門性がもう少し欲しいです。 ・ST, PTなどの訓練もしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する職員配置基準(12名)は常に確保できています。プラスのパート保育士配置については、保育士不足の影響はありますが確保に努めます。 ・スキルや専門性については、研修等で向上を目指していくことが常に必要と考えて実行しています。 ・訓練スタッフの配置はもともとありませんが、機能としての必要性は感じていますので事業を管轄する名古屋市に対して協力して要望していきましよう。
③	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	50%	25%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの効きが悪くて身体が熱くなってしまうことがあった。冬は部屋と廊下(トイレ)の気温差が大きすぎる。 ・ゴキブリ、蚊が出る。 ・掃除などはされているが古さが目立つ。トイレや教室をもう少し明るく楽しそう!と思える空間にして欲しい。 ・古いので清潔感はないです。 ・古いですが先生方の努力を感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7.8月にエアコンの内部と室外機の洗浄を業者に委託し実施してきましたが、引き続き機器の保守管理を定期的に行います。 ・部屋と廊下を一体的に温めるよう窓を開放したり、外への出入口の扉を閉めるよう対応していきます。 ・定期的な清掃や照明器具の交換、飾りつけ等を必要に応じて実施します。
④	建物や設備等子どもたちが安心して過ごせるよう整備されているか。	25%	11%	57%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化していて危険なところがある。 ・建物の古さが一番心配。地震に対応できるか? ・ドアが傾いていて開け閉めしにくい。けがにつながる。教室が傾いている。水しか出ない。 ・整備はしているが老朽化が目立つ。 ・建物、遊具の老朽化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修が必要な箇所については可能な限り修繕を実施してきています。さらにお気づきの点については対応を検討しますので申出てください。 ・耐震調査はすでに実施済みで、補強の必要はないとの結果です。 ・施設の老朽化については法人の将来計画策定委員会でも継続的に議論をすすめてきています。

							・名古屋市の次期障害福祉計画策定に向けた議論の中でも課題にあげられていますので、建て替えと機能充実に向かいたいと思います。その際は、是非お力をお貸しください。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	89%	7%	0%	4%	・専門性が少し足りていない。	・②をご覧ください。
⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか。	79%	14%	4%	4%	・もう少し個別な訓練の時間を設けて欲しい。	・8~10人程度の子ども集団と3~4名の保育士のクラス保育、療育を基本にして、その中で個別支援を行っています。生活場面で親の子どもへの接し方等について確認し合う意味での個別支援は検討課題と考えていますが、一定時間をとったST、OT等の訓練はできません。合わせて②をご覧ください。
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	68%	25%	0%	7%	・目が届いていない分、支援も行き届いていないと思うときがある。	・クラスの複数の保育者が一人一人の子どもに目が行き届くような保育づくり、保育者の連携強化に努めます。
⑧	日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか。	86%	14%	0%	0%		・一人一人の子どものとらえをすすめると同時に、日課や生活、あそびの内容を固定化することの無いよう努めます。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか。	43%	25%	18%	14%	・年2回あるが少ないと思う。なれる前に段階で終わってしまう。 ・機会はあるがもう少し増やして欲しい。 ・年少は機会がないが、年長はあるようなのでそれで良いと思う。	・公立保育園の子どもたちとの交流は、「交流保育」という名称で、2か園と2回ずつ計4回実施しています。引き続き実施していく予定です。
⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	89%	4%	0%	7%		・年度初めに契約説明会で伝えさせていただいていますが、より丁寧な説明に努めます。不明な点はいつでもご説明します。
⑪	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	93%	4%	0%	4%		・クラス保育は懇談会、個別支援計画は個人懇談で支援内容を説明させて頂いていますが、より分かりやすい内容や説明に努めます。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（子どもと一緒に捉え、理解を深める支援）がおこなわれているか。	79%	11%	0%	11%		・保護者のみなさんのニーズもつかみながら、家族支援プログラムを実施します。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	93%	7%	0%	0%	・できている先生とそうでない先生のギャップが大きい。 ・毎日の連絡ノートや水曜日の親子登園で情報をたくさん共有できていると思う。	・共有するための連絡ノートなどは揃っていますが、お子さんの状況、課題が職員間でも共通理解し、保護者の方と接するように努めます。

14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	93%	7%	0%	0%		・定期的な面談は行っていますが、日々必要に応じて行うことを基本にしています。
15	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	96%	0%	4%	0%	・保護者同士で解決できないことにはもう少し介入してもらいたいです。	・園側で気づいたことについては、相談にのらさせていただきます助言等を行ってきました。気づかない点がありましたらお伝えいただくとありがたいです。
16	保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	71%	21%	4%	4%	・先生から「最近どう？」とか「大丈夫～？」とか声をかけてもらったりして話をきいてもらえたりありがたいです。いつもありがとうございます。 ・保護者の負担の軽減が相談や改善が難しい。	・相談や申し入れに対応するケースワーカーといった専門員が配置されていません。保護者の子育ての大変さについては、いっしょに考えることと適切な助言も大切と考えています。②における専門性を高めながら対応できるよう努めます。
17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	75%	18%	4%	4%		・⑩に沿ってすすめます。
18	定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	71%	7%	7%	14%	・業務に関する自己評価の結果についてはわからない。	・自己評価については今年度より義務化されました。業務に関する自己評価は、本保護者評価の公表と合わせて進めています。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	57%	25%	14%	4%	・名簿の携帯番号や住所は書く必要があるかどうか。 ・USBの紛失 ・他の子の連絡帳が入っているのは防いで欲しい。改善要望。	・個人情報の取り扱いについては、今年度発生したUSB紛失事故を教訓に対応を実施しました。個人情報の取り扱いについても意識的に必要性の判断や取り扱いをきちんとするよう努めます。
20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	64%	18%	4%	14%	・マニュアルはあると思うが緊急（防災）以外の説明はなかったと思う。 ・（マニュアルは）聞いたことがないような・・・。	・感染症の対応については、インフルエンザ等発生前や発生時に対応等を保健だよりでお伝えしています。 ・不審者対応についてはマニュアルがありますが、今後説明していきたいと思えます。
21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	86%	4%	0%	11%	・親子登園日には訓練をしたことがないのでやっても良いと思います。	・親子登園日に避難訓練を実施したいと考えます。
22	子どもは通所を楽しみにしているか。	86%	7%	4%	4%	・楽しい気持ちと怖い気持ちと混在している状態だ。 ・今現在は満足していますが、軽度の子も一般の保育園へ転園・就園などではなく、みてるクラスがあるといいのにと常に思っています。	・園に通うことが期待になることは大切なことと位置付けていますが、「怖さ」については、もしもそう感じているようであれば伝えていただきたいと思います。感じる必要が無い怖さであれば原因を解明し、改善します。
23	事業所の支援に満足しているか。	71%	25%	4%	0%	・時間が短い	・見守り一時支援として延長保育を17時まで実施し

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 日

事業所名

発達センターあつた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			定員を超えた受入れに対して子どもの状況に応じてクラスの人数を調整することも課題です
	②	職員の配置数は適切である	○		3 : 1 の職員配置ですが、子どもの状況に応じてパート職員の配置を行っている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	畳スペースを利用し、あそびや午睡が見通せるようにしている	衣類、手拭きタオル、食具等の置き場、おもちゃの収納等子どもの動線と見通しをわかりやすく改善する
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			老朽化がすすんでいるため計画的に修繕を行っている
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			必要書類の簡素化等と業務内容の軽減が課題
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今年度より開	始
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今年度より開始	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は未実施 実施は今後の課題

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		自主研修制度による費用援助と代休保障	1人ひとりの職員課題に合わせた研修計画の充実を図る課題
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			発達課題からの計画作成と保護者の思いを更にとらえた計画づくりを課題にしている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		クラス担任だけでなく職員全体で支援内容の検討を実施	子どもの状況、家族状況、地域生活状況を丸ごととらえたうえでの支援内容にしていく課題

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			個別支援計画に立ち返りながら必要に応じた支援内容の検討	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		クラス担任だけでなく職員全体で検討		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		療育計画の討議を職員全体で実施	主たるとりくみと日課の客観的な評価の実施	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼後のクラス単位での打ち合わせ	その日の子どもの状況から支援中の内容変更とそのため職員の間の意思疎通が柔軟に行える	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ケース会議の実施		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡ノート		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
	関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者	○			

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		が参画している				
	②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター等関係機関との連携会議	
	③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	非 該 当			
	④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	非 該 当			
	⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ資料の作製 巡回訪問の実施	
	⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ資料の作製 巡回訪問の実施	
	⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		合同研修会	
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公立保育園 2 か園との交流保育の実施	

保 護	⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			
	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会定例会議 前の打ち合わせ実施	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の園だよりとクラスだよりを発行	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		おたよりの漢字にルビを入れる	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		毎年 9 月第 1 土曜日にあったかカーニバルの実施	
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			不審者対応の実地対応訓練の年 1 回の実施
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を実施	親子登園日の避難訓練
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			<p>今年度身体拘束に関する同意書と記録用紙を作成した</p> <p>身体拘束に関する職員間の議論と保護者への説明をよりていねいに行う</p>

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。